

あなたのはたらきたいをかたちに 社会福祉法人武蔵野 ジョブアシストいんくる

◎やりがいをもって働き続けるために

○離職者の状況

ジョブアシストいんくるでは就職者が順調に出る一方、諸般の事情から離職に至ってしまう方もいます。いんくる開設以来の5年間で、内定含め51人が企業への就労を決めておられます。そのうち11人が残念ながら離職に至っていますので、定着率は約8割ということになります。精神の手帳をお持ちの方が就職者の6割以上を占める中でこの定着率はかなり高いレベルを維持しているとは思いますが。

離職した方の就労期間は3日から26カ月まであり、特に短期離職が多いわけではありませんが、就職直後と1年半から2年を向かえるあたりにピークがあるように思います。障害種別による多寡ははっきりとは言えませんが、精神障害の方の離職率が相対的に高い傾向を示す一方で、知的障害の方の離職は少なく、安定した勤務を続けている方が多いようです。しかし、厚生労働省の調査によれば、精神障害者の平均勤続年数は4年3か月となっており、他障害と比べると短いものの、ある程度長期にわたって就労を継続している方も多いことがわかります。(厚生労働省障害者雇用実態調査結果報告書より)

○定着支援の大切さ

上記の調査によれば、離職理由の主なもの、「職場の雰囲気・人間関係」、「賃金、労働条件に不満」、「仕事内容が合わない」、などがあげられています。定着には仕事内容と本人の状況のマッチングが最も大切なこととされていますが、就職後の生活や人間関係の変化への対応など、職業生活の定着を促す取り組みも欠かすことはできません。家族や友人、職場の同僚など、ほかの人に話をすること、話を聞いてもらうこと、そしてほかの人の行動を見て、意見を聞く機会から、自らの視点や意見をつくっていくこととなりますが、そもそもそうした機会が少ないこと、また構築していく行為自体への支援が必要なかたも多いとおもわれます。こうした孤立は認知のずれを増幅し、職場の人間関係に悪影響を及ぼし、場合によっては離職につながることもあります。

そうした中、国も定着支援の必要性は認識しており、平成30年より、「定着支援事業」という事業が創設されることになりました。詳細は次号に譲りますが、いんくるもこの事業を併設し(平成30年10月開設予定)、定着支援の一層の充実を図り、皆様が長くやりがいをもって働き続けることができるよう努力してまいります。(鈴木)

◎東京都福祉サービス第三者評価

今年度、社会福祉法人武蔵野の中の、ジョブアシストいんくるを含む8つの事業者は、東京都福祉サービス第三者評価を受審します。

東京都福祉サービス第三者評価とは、第三者の目から見た評価結果を幅広く利用者や事業者公表することにより、利用者に対する情報提供を行うとともに、サービスの質の向上に向けた事業者の取り組みを促すことで、利用者本位の福祉の実現を目指すものです。

大きな目的は以下の2点です。

- ①「利用者のサービス選択」及び「事業の透明性の確保」のための情報提供
- ②事業者の皆さんのサービスの質の向上に向けた取り組みの支援

東京都第三者評価では利用者の声を聞く『利用者調査』と、事業者のサービス内容や組織経営を評価する『事業評価』を行います。

- ①利用者調査:「利用者調査」は「アンケート方式」、「聞き取り方式」、「場面観察方式」が設定され、利用者の状況に応じた方式で行い、現在の利用者のサービスに対する意向や満足度を把握するものです
- ②事業評価:全職員による自己評価や訪問調査等をもとに、事業所の状態を、評価機関が総合的に分析し、事業所の組織経営や提供されているサービスの質を評価します。



(以上東京都資料より抜粋)

今回、依頼した評価機関は、一般社団法人Ricolab様です。

自らの取組みを第三者から評価されることは貴重な機会です。このことで、組織体制の一層の適正化を図り、支援サービスの質の向上に繋がりたいと思います。(鈴木)

ちなみに前回(平成27年度実施)の評価結果は福ナビのホームページから確認することができます。

<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/hyoka/hyokatop.htm>

◎障害者就職面接会見学ツアー

梅雨も本格的になった6月19日、千駄ヶ谷にある東京体育館へ行って参りました。その目的は『就職面接会見学ツアー』と銘打ったいんくるの活動です。実際には面接を受けないけれど、面接会ってどんな感じなんだろう、どれぐらいの人が来るんだろう、どんな風に面接を受けるのかしらと、まだ見学会を体験したことのない方を中心に希望者を募り、職員と一緒に見学をしてくる活動です。

当日は三鷹駅に集合、スーツ着用の方が多かったです。少し緊張した面持ちの方もいました。千駄ヶ谷駅に着くとすでに大勢の人が東京体育館に向かって歩いていました。私たちもあとに続いて向かいます。体育館入り口に到着し、会場へ入る前にこれからの動きを確認しました。皆さん個別行動を希望されたので、集合時間と集合場所を確認して中へ。入り口は二階、会場は一階の構図でまずは二階から会場を見下ろしてみました。「わあー。」と思わず声が出るほどの熱気に私たち職員も圧倒されました。そして、緊張しながらも一階の会場へ。徐々に思い思いの場所へ足を進めます。

実は今回の見学ツアーを実施する前、いんくるのメンバーミーティングの時間に就職面接会についての説明(情報提供)を利用者の皆さんへ向けて行いました。昨年の就職面接会の様子がわかる画像や面接会の目的、メリットやデメリット等、事前に頭に入れていきました。そして実際、目の前で面接風景を見て、あの時言っていたのはこういうことだったのかなと改めて確認することができたのではないのでしょうか。また、参加メンバーの中には、この企業を見てみたいと事前にピックアップしてきた人もいます。まずはその企業を見つけることからでしたが、事前に情報を得ていたことからスムーズに見つけることができた様です。



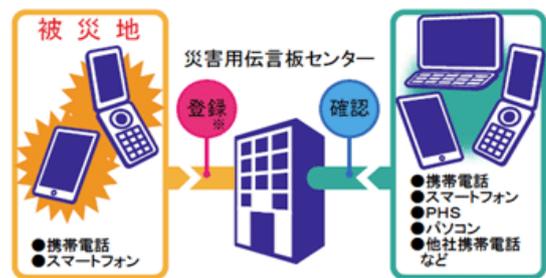
集合時間。時間が余った人もいれば時間いっぱいまで見学していた人と様々な過ごし方をされていました。皆さんどこか充実した表情がうかがえます。そして皆さんの熱が冷めやらないうちに感想をうかがいました。「求職者の人数の多さにびっくりしました。」「見たい会社の面接官の様子が良かったです。」「思っていたより求職者の年齢が高かったです。」としっかりと収穫のあった見学ツアーになったご様子です。帰路に着く間も、皆さんで感想を共有したり、自分自身で咀嚼したりと就職活動に向けてまず大事な一歩を踏み出せたのではないのでしょうか。(梅本)

◎避難訓練を実施

近年、首都圏での大規模な地震発生が予測されるなか、大阪北部や千葉県沖など全国各地で地震が続いています。ジョブアシストいんくるでは、6月29日(金)に、大規模地震を想定した避難訓練をおこないました。

いんくる利用者のほとんどが集まるメンバーミーティングの最中に震度5強の地震が発生した想定でおこない、利用者16名、職員2名が参加しました。

発災時には落下物等から身を守りつつ、揺れが収まるのを待ってヘルメットをかぶり、慌てずに近所の空き地まで移動します。点呼を行い無事避難が確認できたところで事業所に戻り、訓練を終了します。正味15分ほどの時間でしたが、実際の行動をシミュレーションし、体験することで実際に発災した時に落ち着いて行動できるようになります。



避難行動のシミュレーションが終わった後、災害発生時の初動についても確認しました。そして、災害時には帰宅困難状況が予測されるなか、各自が落ち着いて行動するためには近親者間の安否確認が重要であることを確認し、家族間での取り決めの推奨、災害用伝言版(web171)の利用方法の確認などをおこないました。大規模災害時にはいんくるの事業を休止することも考えられます。災害用伝言版(web171)ではそうした事業の一時停止や再開の予定など、いんくるの状況もお知らせする予定です。

◎平成30年度 就職者の状況

平成30年度4月から7名が企業に就職しました。

- Aさん 株式会社アグレックス 様
- Bさん 三井物産パッケージング株式会社 様
- Cさん 株式会社神戸屋練馬工場 様
- Dさん 株式会社東洋冷蔵 様
- Eさん 西村あさひ法律事務所 様
- Fさん オリックス生命株式会社 様
- Gさん アブラックハートフルサービス 様

平成25年6月の開設以来、累計就職者は51名になります。

テイク オフ! いんくる通信 No.13 2018.07.01

社会福祉法人武蔵野 ジョブアシストいんくる

〒180-0006 東京都武蔵野市中町 1-28-10

電話 0422-50-1701 Fax0422-50-1702

e-mail incl@fuku-musashino.or.jp

URL <http://fuku-musashino.or.jp/syougai/syougai-07.html>